

第92回 運営推進会議抄録

開催日時	令和 4年 11月 10 日 (木)		場所	書面会議
参加者 (○印)	常任	柊野包括 (寺本) 松居 田中 岡田 井上修		
	非常任			

第8波コロナ対策とインフルエンザが重なって勤務体制が緊迫、今回は書面会議とさせていただきます。
おそれいりますが同封ハガキによりご意見・ご指導をよろしくお願いいたします。

1 令和 3年度外部評価と自己評価の検証

評価項目	実践状況	
	自己評価	外部評価
① 49 (18) ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎朝夕、希望に応じて異なる方面への散歩を励行している。行事の一環として祇園祭宵山、桜や梅の花見、紅葉狩り等に出かけている。	初詣・お花見・紅葉狩りなどの外出を行ったり、ホームの庭でBBQやお茶を楽しんだりしていましたが、現在はコロナ禍の影響を受けて、外出は自粛しています。ただし、入居者の希望があれば、ホーム周辺への散歩を実施しています。また、家族との面談は、玄関を開放して、換気を行いながら短時間での面会を行っています。
② 52 (19) ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	左のとおり実践している。	民家を改修したホームで、庭を望む大きな窓からは心地よい光がさし込み、大きなソファで毎日穏やかに過ごせる空間となっています。棚に並べられた個人日誌や医療情報などの個人ファイルは、カーテンで目隠しがされており、家庭的な雰囲気を壊さないよう配慮がなされています。台所からは生活音や食事の匂いを感じることができ、五感への良い刺激にもなっています。

以上の評価項目の実践状況について、自己評価と外部評価の違いを検証した。

2 報告事項

① 利用者と職員の状況 (2022/11/01現在)

利用者	介護度	援2	1	2	3	4	5	計	平均	
		女		1	1	3		1	6	2.8
男										
計		1	1	3		1	6	2.8		
年代	年代	70代	80代	90代	100代	計	最高	最低	平均	
		女	2	4		7	99	82	92.0	
		男								
計		2	4		7	99	82	92.0		
介護職	年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計	
		女	1	1	2	1	3			8
		男	1						1	2
計		2	1	2	1	3		2	10	

② 運営状況

- ・2024/03に閉鎖予定、公表により空室発生、9月以降募集にかかったが応募なし。
このままでは来年度に運営資金が逼迫、閉鎖の前に倒産するので補充に全力を挙げる。
- ・近隣に2023/03に開設されるグループホームがあるにはあるが、自己負担利用料が5万円/月ほど高くつきそうなので、閉鎖を1年延期して次を待つことにした。

3 意見・指導 (指摘)

<添付資料> 寛寿庵だよりNO. 244(22/11/10付)